

指定管理者管理運営状況検証調書①

令和2年7月27日

施設名	香川県新規産業創出支援センター（ネクスト香川） 香川県科学技術研究センター（FROM香川）	所在地	高松市林町2217-44（ネクスト香川） 高松市林町2217-16（FROM香川）
施設所管課	商工労働部産業政策課	施設所管課 連絡先	産学官連携・国際戦略グループ 087-832-3353
指定管理者名	公益財団法人かがわ産業支援財団	指定期間	平成28年4月1日～ 令和3年3月31日

1 指定管理者が行う業務

委託業務の内容	①施設の維持管理に関すること ②施設の利用の許可に関すること ③使用料等の徴収に関すること ④その他施設の管理運営に必要な事項	県からの 委託料	平成28年度 81,845,320円 平成29年度 82,000,000円 平成30年度 82,000,000円 令和元年度 83,518,518円 令和2年度 83,518,518円
---------	--	-------------	--

2 施設の利用状況等

（1）香川県新規産業創出支援センター（ネクスト香川）の主な施設の利用者数及び使用料収入

利用者数 （稼働率）	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
イキバート工房 入居数(全11)	元年度	6	6	5	5	5	6	6	6	7	8	8	7	260
EMC試験施設 利用企業数		25	25	20	25	20	22	25	25	17	16	23	17	
イキバート工房 入居数(全11)	30年度	7	7	7	7	7	6	6	6	6	6	6	6	245
EMC試験施設 利用企業数		25	21	21	21	20	23	22	20	15	21	17	19	
イキバート工房 入居数(全11)	29年度	4	4	5	7	7	7	7	7	7	7	7	7	241
EMC試験施設 利用企業数		18	20	21	21	20	23	20	23	19	13	26	17	
イキバート工房 入居数(全11)	28年度	6	5	4	4	4	3	3	3	3	3	4	4	240
EMC試験施設 利用企業数		15	25	24	14	22	25	17	23	22	9	18	26	
イキバート工房 入居数(全11)	導入前	7	7	7	7	7	7	7	9	9	9	9	9	126
EMC試験施設 利用企業数		0	6	8	4	18	13	7	8	18	7	7	30	

利用料金収入	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
使用料・手数料	元年度	6,030,505	4,553,348	4,825,598	4,731,638	4,905,065	5,185,725	5,051,588	4,173,783	4,787,393	3,599,293	4,882,926	6,352,278	59,079,140
使用料・手数料		30年度	4,027,125	4,264,628	3,996,908	4,394,308	4,171,143	4,380,541	5,003,091	5,190,307	3,624,963	4,192,963	3,724,103	4,115,531
使用料・手数料	29年度	4,639,141	5,303,851	5,667,561	5,997,849	5,030,155	5,139,285	5,651,555	4,747,728	3,240,168	3,738,198	5,757,898	4,265,668	59,179,057
使用料・手数料	28年度	4,926,104	4,830,535	5,178,845	4,737,695	3,308,694	4,598,014	4,097,674	4,198,184	3,174,384	2,567,711	2,733,931	4,932,461	49,284,232
使用料・手数料	導入前	0	3,315,295	3,884,530	2,018,715	6,682,045	4,457,365	3,119,880	6,423,580	6,448,965	1,655,245	2,971,480	12,327,490	53,304,590

(2) 香川県科学技術研究センター (FROM香川) の利用者数及び使用料収入

利用者数 (稼働率)	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
研究室入居室 数(全17)	元年度	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	5
共同・実験機 器(利用企業数)		0	0	0	0	0	1	1	0	1	0	1	1	
研究室入居室 数(全17)	30年度	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	10
共同・実験機 器(利用企業数)		1	1	1	2	0	1	0	0	0	2	1	1	
研究室入居室 数(全17)	29年度	16	16	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	25
共同・実験機 器(利用企業数)		0	0	2	0	1	0	9	1	1	2	8	1	
研究室入居室 数(全17)	28年度	16	16	16	16	14	14	13	13	13	13	13	14	4
共同・実験機 器(利用企業数)		0	0	0	1	1	0	1	0	0	0	0	1	
研究室入居室 数(全17)	導入前	15	15	15	15	16	17	17	17	15	15	15	15	25
共同・実験機 器(利用企業数)		0	3	1	3	2	1	0	0	1	2	4	8	

使用料収入	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
使用料	元年度	0	0	0	0	0	1,230	20	0	1,250	0	1,250	1,250	5,000
使用料	30年度	160	200	150	1,380	0	4,620	0	0	0	2,460	1,230	1,230	11,430
使用料	29年度	0	0	1,250	0	1,230	0	2,010	1,230	1,230	2,150	1,250	120	10,470
使用料	28年度	0	0	0	1,230	1,230	0	20	0	0	0	0	1,230	3,710
使用料	導入前	0	2,400	2,400	2,580	2,400	360	0	0	1,200	3,600	1,138,575	765,450	1,918,965

3 利用者からの意見への対応

利用者意見の 把握方法	工房入居者及び研究室入居者：訪問、利用者面談、電話等により把握 EMC試験施設利用者：利用者面談、アンケート調査（年2回）
----------------	--

利用者からの積極的な評価
セキュリティがしっかりしている上、作業スペースを確保できる十分な広さがある。
バイオ関連などの実験ができる施設が県内には少なく、貴重な施設である。
財団管理者に様々な事柄を気軽に相談できるほか、経営相談や技術相談、各種経営支援情報の入手等が容易である。
銀行、郵便局が隣接しており、振込や荷物の発送が円滑にできる。
RISTかがわをはじめ、機器利用できる施設が隣接しており、必要な時に速やかに利用できる。
いくつかの試験を同じ暗室で実施する場合に、機器設定等がスムーズで、EMC試験の待ち時間が非常に少ない。ホームページ上で予約状況を確認できるので予約しやすい。
EMC試験技術員が様々な質問に答えてくれるほか、オペレーションの対応も素晴らしい。毎年EMC講演会や研究会が開催されており、情報の入手に非常に役立っている。
EMC試験でVCCI等の認定組織の認定を受けており信頼性が高いうえ、機器の更新も過不足なく行われている。
ネクスト香川が保有するEMCの企画書等を自由に閲覧できるので、試験内容を理解するうえで非常に参考になる。

利用者からの苦情・要望	対応状況
<p>【ネクスト香川】</p> <p>(1) EMC試験の合間に1階ロビーを利用するが、新聞等を置いてほしい。</p> <p>(2) 水道水が夏場に匂うので、対応してほしい。</p> <p>(3) 中庭に面するベランダが鳥の糞で汚れている。</p> <p>(4) ネクストの敷地の一部を実験用の機器設置のため、使わせてほしい。</p>	<p>(1) 従来、EMC関係機関紙のみであったが、利用者のニーズの高い日経新聞を常設することとした。</p> <p>(2) 貯水タンクの水位を下げるほか、貯水槽付近に水栓を取付け、速やかに貯水槽の水の入替ができるように改善した。</p> <p>(3) 日常清掃（委託）の範囲でなかったため、糞の除去と水洗いを行った。</p> <p>(4) 県と相談のうえ、行政財産の使用許可を取って、利用を認めていただいた。</p>
<p>【FROM香川】</p> <p>(1) 最終退館時に鍵操作のため、照明を点けているが、消すと手元が分からないので何とかしてほしい。</p> <p>(2) 洋式トイレが温座機能のみであり、ウォシュレット機能の追加をお願いしたい。</p> <p>(3) 屋上の純水製造装置を設置した部屋の床が排水できない構造となっており、漏水時に水がたまり、配管を伝って階下に漏れる。</p>	<p>(1) エレベーター前の照明を人感センサーにして、退館後も約3分間点灯するよう改善を行った。</p> <p>(2) 各階洋式トイレにウォシュレット機能を追加した。</p> <p>(3) 床に水が溜まらないように水の抜け道を作るとともに、床に漏水センサーを設置し警備会社と連携することで、漏水初期段階で対応できる体制とした。 また、漏水時には純水製造装置への給水が停止されるように改良した。</p>

4 管理運営状況の評価

項目	細項目	指定管理者による自己評価	施設所管課の評価	人事・行革課の評価
適正な管理運営の確保の状況	利用許可	条例、規則等に基づき、県有施設利用等審査委員会を開催し、適切に利用許可を行っている。	利用申請に対して、条例や規則に基づき承認までの手続きが適正に行われている。また、利用料金についても条例や規則に基づいた適正な金額となっている。	A
	建物・設備の保守点検及び維持管理	建物、設備の日常保守管理、定期点検等については、日常的に見回り、確認を行うとともに、専門業者に委託して状況を把握する等適切に実施している。修繕等については、専門業者や県と協議し、円滑な実施に努めている。	日常的に施設・設備の点検が行われている。また、指定管理者では対応できない専門的な保守業務については、業者に委託し適切に管理されている。修繕についても必要に応じて、県や専門業者と協議し、迅速に実施されている。	
	安全性の確保	日常見回りのほか、専門業者との連絡を密にして、事故等の無いよう留意している。	常に事故防止に留意しながら施設設備の管理運営をしており、これまで対人事故は発生していない。万が一のため賠償責任保険にも加入している。	
	物品・備品管理	県の所有物品の管理については、毎年度実態を調査し、県に報告している。県からの貸付物件についても同様である。	県の所有物及び県からの貸付備品について、管理一覧表を作成し、毎年実態調査を行い、県に報告している。管理物品数が多いため、部屋ごとの管理一覧表を作成することで効率的に管理している。	
法令等の遵守等	法令等の遵守	条例、規則、管理規程等を遵守するほか、協定書や仕様書に沿って適正に管理している。	条例、規則、管理規程等を遵守した管理運営がなされている。また、委託契約を行う際には、暴力団排除を適切に実施している。	A
	職員配置	ネクスト香川のEMC試験については、3名の専任者を配置し、適切に管理している。ネクスト香川、FROM香川両施設の管理のため、管理運営責任者1名を配置し、必要な補助者を配置している。	ネクスト香川のEMC試験設備（電波暗室）については、経験豊富な技術者3名を専任で配置している。また、ネクスト香川、FROM香川の施設管理については、十分なサービスが提供できるよう管理運営責任者1名と補助者を配置している。	
	緊急時の体制	緊急連絡網を整備し、夜間や休日にも対応できる体制を整えている。地震や台風、事故の際は速やかに県に状況報告している。	緊急連絡網を整備しており、夜間や休日には警備会社から直接担当者に連絡が取られる体制となっている。また、災害等の発生時には速やかに県に報告している。	
	県の指示事項への対応	県とは日常的に連絡を取っており、県の指示に対しては迅速に対応している。	重要度や緊急度に応じて、メールや電話、連絡会、現場での協議など適宜連絡を取りながら迅速に対応をしている。	
	個人情報の保護	個人情報の入った書類等は適切に保管するとともに、シュレッダーにより破棄するなど、適切に取り扱っている。	個人情報の取扱いについては全職員に周知されており、個人情報を含む書類は施錠可能な場所に保管されている。また、不要になった書類はシュレッダーにて破棄するなど、適切に管理されている。	
労働関係法令遵守の状況	労働関係法令	就業規則を基に、労働条件通知書を発行し、労働条件を明示するなど、労働関係法令を遵守するよう努めている。	就業規則を基に、採用の際には労働条件を明示した労働条件通知書を発行している。給与基準も妥当であり、労働関係法令を遵守し、適切に運用している。	A

利用者サービスの維持向上の状況	利用者数の状況	<p>ネクスト香川の工房の入居者は平成27年度末に6社6室で、その後、平成28年度後半には3社3室まで減少したものの、令和元年度末で6社7室となっている。</p> <p>FROM香川の研究室の入居率はほぼ100%を維持している。</p> <p>EMC試験施設の利用は100%に近い水準で推移している。</p> <p>共同機器室については、機器の老朽化のため、利用は少ないが、ホームページ等で利用促進を図っている。</p>	<p>ネクスト香川の入居者数は平成28年度後半に3社3室まで減少したが、利用促進策により令和元年度末で6社7室となっている。</p> <p>FROM香川の研究室の入居率は平成29年6月以降100%を維持している。</p> <p>EMC試験施設は100%に近い水準で推移している。</p> <p>共同研究室については、県の所有物・貸付備品である機器の老朽化により利用数は少ないが、ホームページ等での周知により利用促進を図っている。</p>	A	A
	利用促進	<p>ホームページや広報誌への掲載などを行う一方、大学やEMC試験施設利用者等と情報交換を行っている。</p> <p>EMC試験施設は、設備の更新を行うとともに、夜間の利用にも対応している。</p>	<p>ホームページや各広報誌での広報活動に加え、大学や試験施設利用者等へは個別に案内を行うことにより利用促進につなげている。</p> <p>EMC試験施設については、施設機器の更新を行うとともに、夜間の利用にも対応するなどの利用促進策を行っている。</p>		
	各種事業・プログラムの内容	<p>財団のパンフレット等を入居者に送付し、各種支援策の情報提供を行っている。</p> <p>EMC試験関係の研究会や講演会、共同機器室の機器講習会を実施している。</p>	<p>ネクスト香川、FROM香川の入居者に指定管理者であるかがわ産業支援財団のパンフレット等を配付することで各種支援事業の情報提供を行い、事業化支援を行っている。</p> <p>EMC試験施設の研究会や講演会、共同機器室の機器講習会などを適切に実施している。</p>		
	利用者満足度調査	<p>訪問、面談、EMC研究会を通じて利用者の意見の把握に努めている。</p> <p>工房入居者や研究室入居者は経営上の相談や苦情等への迅速な対応に、おおむね満足している。</p>	<p>ネクスト香川、FROM香川の入居者からは訪問や面談をした際に、EMC試験施設の利用者からは研究会を通じて意見の把握をしている。</p> <p>また、入居者からの経営上の相談等についても迅速に対応し、おおむね満足の評価を受けている。</p>		
	苦情等への対応	<p>施設、設備の老朽化に伴い、苦情等も増えつつあるが、適切な対応に努めている。</p>	<p>施設や設備に関する要望や苦情が、老朽化に伴い増加しつつあるが、迅速に対応を行っている。</p>		
	広報、PR、情報提供の実施	<p>パンフレットやチラシを随時配布するとともに、ホームページや広報誌での広報に努めている。</p>	<p>パンフレットやチラシの配付だけでなく、ホームページや広報誌でも広報することで有効な情報提供をしている。</p>		
	収支の状況	経費節減の取組	<p>業務委託について適切な入札等を行い、施設や設備の修繕を適切に行うことで経費節減に努めているほか、蛍光灯や水銀灯については、徐々にLED化を進めている。</p>		
収支の状況の把握		<p>定期的に収支の状況を確認し、計画的な支出に努めている。</p>	<p>定期的に事業報告書を確認することで、収支状況を適切に把握している。</p>		
会計処理の状況		<p>業務仕様書や財団の財務規程に従い、適切な運用に努めている。</p>	<p>常勤の会計担当が配置され、複数職員によるチェック体制も整えられている。業務仕様書や財団の財務規程に従った会計処理が行われている。</p>		

- 《評価指標》 S：従前の管理水準や仕様書等に定める水準を上回っている。
 A：従前の管理水準や仕様書等に定める水準を実施している。
 B：従前の管理水準や仕様書等に定める水準を概ね実施しているが、一部改善を期待する部分がある。
 C：従前の管理水準や仕様書等に定める水準を下回っている。

総合評価	施設所管課の評価		人事・行革課の評価
	指定管理者は、施設や設備の管理運営及び施設利用者に対するサービスを適切に行っており、仕様書等に定める水準を満たしている。また、経費節減や利用促進策についてもしっかりと取り組み、指定管理を適正に行っている。	A	A

- 《評価指標》 S：適正であり、優れた実績をあげている。
 A：適正である。
 B：概ね適正であるが、一部改善を期待する。
 C：改善が必要である。